

2016年9月16日

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

フェスティバル/トーキョー16 ダンスワークショップ参加者募集のお知らせ

ドイツ表現主義舞踊の継承者スザンネ・リンケが、 ダンスの歴史を未来に手渡す。

フェスティバル/トーキョー実行委員会（名誉実行委員長：高野之夫 豊島区長、実行委員長：福地茂雄 公益財団法人新国立劇場運営財団顧問）は、主催ダンス演目のひとつである「ドーレ・ホイヤーに捧ぐ『人間の激情』『アフエクテ』『エフエクテ』」の振付家スザンネ・リンケ氏を講師に迎えたワークショップ（ダンス経験者対象）を開催することを発表いたしました。

ダンス公演では、ドイツ表現主義舞踊の砦であり、ドイツを代表するダンサー・振付家のひとりスザンネ・リンケが、ドーレ・ホイヤーの作品を再構成した『人間の激情』をはじめとする3作品を日本の観客に披露いたします。

当ワークショップは、16年ぶりの来日となるリンケのダンスに直に触れられる貴重な機会となります。2016年12月4日（日）～6日（火）の計3日間にわたり開催し、ワークショップを通して、若手ダンサーが輝く契機をつくりだしていきます。

開催概要の詳細は下記のとおりです。

■ワークショップ開催概要■

日時：2016年12月4日（日）～6日（火）

各日 13：15～16：45

会場：東京芸術劇場 リハーサルルーム M3

東京都豊島区西池袋 1-8-1

講師：スザンネ・リンケ

参加費：6,000円

参加条件：

- ・心身共に健康な18歳以上の方。
- ・ワークショップの全日程（3日間）参加できること。
- ・ダンス経験者であること。

定員：20名 応募者多数の場合は選考

募集期間：9月23日（金）～10月18日（火）23：59

F/Tウェブサイト上で公開予定。www.festival-tokyo.jp/

申し込み方法：ウェブ上の申込フォームより

URL：<https://pro.form-mailer.jp/fms/f8b81a19107509>



スザンネ・リンケ(Susanne Linke)プロフィール

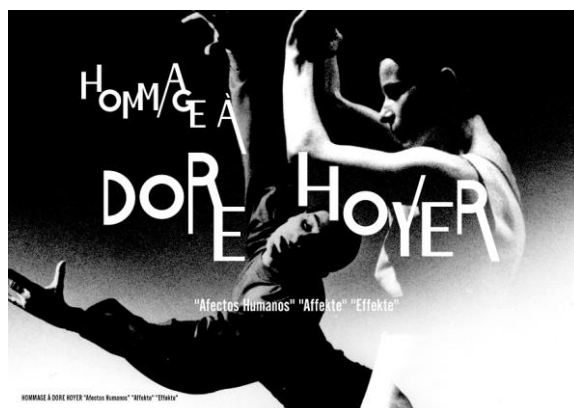
振付家・ダンサー

1944年生まれ。ドイツ表現主義舞踊の歴史の中で、最も重要なソロダンサーの一人と称される。ドイツ表現主義舞踊創始者の一人、マリー・ヴィグマンに師事。その後エッセンのフォルクヴァング・スクールにて学び、1980年代半ばから国際的なソロダンサー、振付家としてのキャリアを積む。ブレーメン劇場などの芸術監督を歴任。2015/2016年シーズンより、トリアー劇場ダンス部門の芸術監督に就任。ピナ・バウシュやラインヒルト・ホフマンらと共に、タンツテアターの創始者的存在と位置づけられている。

ドーレ・ホイヤーに捧ぐ『人間の激情』『アフェクテ』『エフェクテ』

ドーレ・ホイヤーの作品を再構成した『人間の激情』をはじめとする3作品が若手ダンサーにより、「ドーレ・ホイヤーに捧ぐ」と冠し、日本の観客に披露される。

1987年に初演された『人間の激情』は、現代ダンスの金字塔とも称されるホイヤーの同名作品(1962)を写真や映像などから再現した作品。自身や先人が築いてきた近現代ダンスの歴史や記憶のアーカイブともいえる本公演で、振付家として円熟期を迎えたスザンネ・リンケが、次世代へバトンを繋ぐ。



公演情報

ドーレ・ホイヤーに捧ぐ 『人間の激情』『アフェクテ』『エフェクテ』

構成・振付：スザンネ・リンケ

日程：12/9（金）— 12/11（日）

会場：あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）

上演時間：110分（休憩あり）

広報に関するお問合せ：

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 広報担当：小倉・武田

電話：03-5961-5202 ファクス：03-5961-5207 Eメール：press@festival-tokyo.jp

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-15-10 東部区民事務所 3階 www.festival-tokyo.jp/

本リリース、演目の詳細や画像は下記公式HPにてダウンロードいただけます

<http://www.festival-tokyo.jp/16/press/>